

各部会確認事項について

【観光】

主旨

観光資源を再発見し、観光地としての魅力を高めます。また、観光地を繋ぐ道路の整備と拠点となる駐車場（道の駅）整備や施設の改修を行い、観光ルートを構築することにより、入り込み客数を増加させます。

課題・確認事項

天然記念物等の活用事業は、具体的な事業の進め方を考える必要があります。また、地域と行政がどのように関わるのか考える必要があります。

市道の局部改良については、生活基盤部会で検討します。

駐車場の整備事業は、新東雲橋の開通が平成 27 年度末になりますので、事業としては平成 28 年度以降とされます。それまでに軽トラ市を開催する運営主体を決めるとともに、販売物が集まる仕組みを考える必要があります。

観光施設の整備では、なごみの家、ビジターセンター、テント村の整備がありますが、各施設とも、具体的にどんな目的で、どんな整備が必要か考える必要があります。（例えば、ビジターセンターは現在ユズの加工施設として利用していますが、クリ園の整備に合わせてクリの出荷・加工施設として利用するなど）

【産業振興】

主旨

グリーンピア跡地の栗園の整備により、産業振興を図ります。また、栗園を 6 次産業化、観光農園化することにより雇用の創出を目指します。まず三町の農作物を不動滝販売所へ集荷する仕組みを構築し、軌道に乗れば新東雲橋の道の駅に出荷できるよう地域経済の活性化を目指します。

課題・確認事項

クリ園の方向性を明確にする必要があります。6 次産業化を目指すのであれば、加工所が必要になるなど、整備の内容が変わります。また、観光農園化によりトイレの規模も変わるので、詳細を詰める必要があります。

農作物の出荷場所が不動滝と道の駅になりますが、必要量の農作物を確保する必要があります。

【生活基盤（道路・福祉など）】

主旨

笠周地域は、幹線道路は整備されていますが、主となる道路が1つであるため、災害時に利用できるバイパス道路整備を進めます。また、各地域の観光地を周遊するための道路整備を進めます。

地域福祉の向上を目指すため、老人介護施設の建設誘致を行います。また、総合防災福祉センターの整備を行い、緊急時に迅速な対応ができるようにします。

課題・確認事項

道路の整備は、全て同時進行することはできないので、必要な順に順位を付け、実施年度を分ける必要があります。それには、各道路の整備内容を明確にして、事業量を把握する必要があります。

総合防災福祉センター（消防分署）については、笠周地域だけでなく、恵那市全体で在り方を考える必要があります。

笠周地域振興計画ワークショップまとめ

テーマ	施策	事業	内容(細事業)
観光	観光ルート 開発・整備	天然記念物等の活用 ・笠置のヒノ窟、ヒトツバタゴ、飯地の前平観音、中野方のヒカリゴケ、黒瀬街道など天然記念物などをブラッシュアップし、3町の魅力を再発見することにより、笠周地域の魅力の向上を目指す。	地域の観光資源ブラッシュアップ事業 観光マップ作成事業(現在作成中の3町合同の観光マップに反映) 天然記念物などの周辺整備・看板設置
		市道の局部改良 ・観光地を周遊できるように、道路の局部改良を行い、利便性を高める。また、県道のバイパス機能を向上させることにより、災害時の迂回路として整備する。	勢井後橋の整備 地図①
			飯中線の整備 地図②
			川向林道の整備 地図③
			寺洞林道の整備 地図④
			笠置山林道の整備 地図⑤
			寺洞林道と笠置山林道を繋ぐ林道の新設 地図⑥
			笠置振興事務所から笠置コミュニティセンターへの道路整備 地図⑦
			新東雲橋接道整備 地図⑧
			笠置農道の整備 地図⑨
			七宗線から飯中線につなぐ道路の新設 地図⑩
飯地前平観音周辺 地図⑪			
観光施設の整備	観光施設の整備	駐車場等の整備 ・新東雲橋付近に観光バスが止まる場所があると良い。観光名所に寄ってもらい、地元の物を買ってもらう。 ・道の駅として、駐車場を整備し、軽トラ市ができるようなスペースをつくる。 ・道の駅は要になるグループが必要。道の駅の準備には構想等準備で3年かかる。通行量の問題もある。軽トラ市やテント市から始める方法もある。	新東雲橋付近道の駅整備事業(駐車場整備) 軽トラ市の開催(運営主体団体の創設)
		柵田の観光客受入れ設備の充実 ・柵田のなごみの家の整備。休憩所、シャワー。柵田オーナーはリピーターで固定。手足の洗い場等休憩場が必要。収益をあげて維持することが必要。冬場の活用も課題。	柵田のなごみの家の整備(休憩所、シャワー)
地域の祭り を活かした 一体的な観光 開発	地域の祭り を活かした 一体的な観光 開発	ビジターセンターの改善 ・ビジターセンターを宿泊可能施設として整備する。	ビジターセンターの利活用(宿泊施設)
		テント村施設(宿泊)の充実 ・テント村の整備柵田で農業体験してテント村(バンガロー)へ泊まって笠置観光をするような形が望ましい。・ポルタリングの宿泊所にテント村を活用する。山小屋・シャワーがあって大勢泊まることできる。 ・浄化槽は維持費がかかるので、コテージを整備する。	テント村の整備(コテージの改修・増築)
グリーンピア 跡地の有効 活用	グリーンピア 跡地の有効 活用	交流人口を増やすために、地域の祭りの調整を行う。3町の物語を作る。 ・南北朝時代からの祭りを活かした3町の物語りをつくり、誘客を図る。祭りの時期を調整し、一体的に誘客できるようにする。	3町統一の行事予定表の作成
		栗園観光に伴う公衆トイレの設置 ・観光栗園に展望台とトイレの設置。女性が困る。ただ電気はあるが水が問題。	栗園観光に伴う公衆トイレの設置事業
		栗園振興に対する3町連携 ・栗園は第6次産業への展開も見込める。雇用も見込める行政、農協、地元との役割分担の明確化が必要。菓子店と栗園との連携が必要。観光の目玉は「栗拾い」。	グリーンピア跡地観光農園整備運営事業
		起業、研究所の誘致 ・先端の研究所、企業、学校を誘致。直下型地震をサポートする施設も働きかける。リニア開通を見据えて。	グリーンピア跡地企業・研究所誘致事業

産業振興	農産物の3町合同出荷	試行的に不動産に農産物を集荷して販売する。 ・3町から農産物を不動産に持ってこれるといい。まず既存の不動産で農産物を出せる仕組みづくりをしたほうがよい。そこで成功したら、新規に出店する形をとる。	農産物の笠周地域合同出荷	
	地域資源のインターネット発信	ホームページの作成(3町の観光等) ・3町合同でのネット販売。内容のあるホームページの作成、随時更新する仕組みを作る。フェイスブックの立ち上げも。ネット専任の人間の確保。	笠周地域ウェブサイト作成事業	
		農産物等のネット販売(不動産を起点に) ・3町合同でのネット販売。内容のあるホームページの作成、随時更新する仕組みを作る。フェイスブックの立ち上げも。ネット専任の人間の確保。	農産物等のネット販売事業	
3町統一の行事予定表の作成	3町統一の行事予定表の作成 ・田の神灯(ともしび)祭りでも飯地でも笠置でも知らない人がいっぱいいる。三町の行事カレンダーを作って相互応援をするとよい。飯地はほたる祭りがある。	3町統一の行事予定表の作成【再掲】		
生活基盤(道路・福祉など)	笠置北ルートの道路整備	飯中線の拡幅 ・飯地中野方線は観光バスが通れるくらいの改良工事。飯中線は北側であるため、冬場の凍結が心配なので、木の伐採など光が入りやすくすれば多少なり改善される。	勢井後橋の整備 地図①【再掲】 飯中線の整備 地図②【再掲】	
		旧グリーンピア入口～笠置寺洞林道の整備 ・飯地から中野方、笠置、新東雲橋とつなげるため、飯中線からグリーンピア跡地の道、笠置山林道、途中、道路を新設して寺洞林道、笠置農道の各道路の改良及び笠置コミュニティから笠置事務所への道を2車線に改良を行い、県道が不通時の迂回路やボルダリング、栗園へのアクセス道としたい。	向山林道の整備 地図③【再掲】 寺久保林道の整備 地図④【再掲】 笠置山林道の整備 地図⑤【再掲】 寺久保林道と笠置山林道を繋ぐ林道の新設 地図⑥【再掲】	
		笠置農道～寺田石山線～新東雲橋接道 ・同上	笠置振興事務所から笠置コミュニティセンターへの道路整備 地図⑦【再掲】 新東雲橋接道整備 地図⑧【再掲】 笠置農道の整備 地図⑨【再掲】	
		観光関連道路 ・観光テーマより	七宗線から飯中線につなぐ道路の新設 地図⑩【再掲】 飯地大平観音周辺 地図⑪【再掲】	
		県道の道路改良促進	402号・409号・412号の改良 ・棚田に上がる県道402号について、入り口が狭く、大型バスが上がれない。県道になるので県への要望をしていきたい。県道412号は大雨になると通行止めになるため、どんな時でも通れる道の整備。	402号・409号・412号の改良要望
			66号(不動産～加須里)バイパスの整備 ・主要地方道恵那白川線の加須里から不動産の滝あたりまでにおいて、大雨などで通行止めになった場合、迂回路がないのでバイパスがあるといい。	66号(不動産～加須里)バイパス整備の要望
	総合防災福祉救急センターの整備	介護予防 ・飯地から街中への介護施設へは行きづらいので、介護施設の設置を中野方保育園の新設に伴い旧保育園に開放型の介護施設を設置したい。民間介護施設の誘致をしたい。毛呂窪小学校の跡地について、南側の土地であり日当たりがいいので、介護施設等跡地利用をしたい。	老人介護支援施設の建設誘致(毛呂窪小学校・中野方保育園跡地)	
		救急車の配置 ・救急車が着くまでに30分から40分かかる。規制等あると思うが地元消防団員も救急車を運転しても良いと言っている。救急車のみ配置し、地元の人間が運転することはできないか。また救急車と救急用の職員の配置ができないか地元の医師が救急車を運転して急患を病院に搬送してもいいのではないか。笠置コミュニティセンターを複合施設として利用してはどうか。	総合防災福祉救急センターの整備	

市道の局部改良

- ①飯中線の整備
- ②勢井後橋の整備
- ③川向林道の整備
- ④寺洞林道の整備
- ⑤笠置山林道の整備
- ⑥寺洞林道と笠置山林道を繋ぐ林道の新設
- ⑦笠置振興事務所から笠置コミュニティセンターへの道路整備（寺田・石山線）
- ⑧笠置農道の整備
- ⑨新東雲橋接道整備
- ⑩七宗線から飯中線につながる道路の新設
- ⑪飯地前平観音周辺

笠置北ルートの道路整備

- ・飯中線の拡幅
- ・旧グリーンピア入口～笠置寺洞林道の整備
- ・笠置農道～寺田石山線～新東雲橋接道

県道の道路改良促進

- ・402号・409号・412号の改良
- ・66号（不動滝～加須里）バイパスの整備

総合防災福祉救急センターの整備

- ・介護予防
- ・救急車の配置

地域資源のインターネット発信

- ・ホームページの作成（3町の観光等）

3町統一の行事予定表の作成

グリーンピア跡地の有効活用

- ・栗園観光に伴う公衆トイレの設置
- ・栗園振興に対する3町連携
- ・起業、研究所の誘致

天然記念物等の活用

- ・地域の観光資源をブラッシュアップする。
- ・観光マップの作成（現在作成中の3町合同の観光マップに反映）
- ・天然記念物などまでの道路整備（別途各道路事業とする）
- ・天然記念物などの周辺整備・看板設置

農産物の3町合同出荷

- ・試行的に不動滝に農産物を集荷して販売する。

地域資源のインターネット発信

- ・農産物等のネット販売（不動滝を起点に）

交流人口を増やすために、地域の祭りの調整を行う。3町の物語を作る。

- ・南北朝時代からの祭りを活かした3町の物語をつくり、誘客を図る。祭りの時期を調整し、一体的に誘客できるようにする。

ビジターセンターの改善・利活用

棚田の観光客受入れ設備の充実

- ・棚田のなごみの家の整備。
- 休憩所、シャワー施設。

施策（課題）名 観光施設の整備

- ・テント村施設（宿泊）の充実

観光ルート開発・整備

- ・駐車場等の整備

